

Chia's News

病院で働く人たち

病院で働くには、どんな資格が必要か？ また仕事の内容や特徴などをシリーズでご紹介します。第5回目は「リハビリ」です。

リハビリテーションとは？



リハビリテーションは、病気やけが、体力の低下などによって「できなくなったこと」を、もう一度できるようにするための取り組みです。日常生活の動作だけでなく、仕事や趣味など、その人らしい生活を取り戻すことも大切にしています。「少しでも自分でできることを増やしたい」「もう一度、家で安心して生活したい」「好きなことをまた楽しみたい」そんな思いに寄り添いながら、一人ひとりの状態や目標に合わせてその人らしい生活を取り戻すお手伝いをするのが、リハビリテーションです。当院のリハビリテーション科には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という職種が在籍しています。



理学療法士

「立つ」「歩く」「動く」ことが難しくなった人をサポートする専門職です。

例えば…

- 立つ・歩く・起き上がる練習
- 筋力や体力をつける運動
- 関節を動かしやすい練習
- バランスを保つ練習
- 自宅で安全に生活するための動作練習
- 杖や歩行器などの使い方の練習



作業療法士

「生活すること」が難しくなった人をサポートする専門職です。

例えば…

- 手を使う動作の練習
- 着替え・食事・トイレ・入浴などの練習
- 自宅で生活するための工夫や環境調整
- 福祉用具を使って、できることを増やす
- 仕事・家事・趣味など、やりたいことへの復帰を支援する



言語聴覚士

「話す」「聞く」「理解する」「食べる・飲み込む」ことの困りごとをサポートする専門職です。

例えば…

- うまく話せない、声が出にくい方の練習
- 言葉を聞いたり理解したりする力の練習
- 自分の考えを伝える方法を一緒に考える
- 食べ物を噛む・飲み込む練習
- 安全に食事をするための姿勢や食べ方を考える
- ご家族や周囲の方とのコミュニケーションを支援する



当院では、介護保険サービスの一環として
訪問リハビリ も行っています。

専門職がご自宅に訪問して、住み慣れた家で
自分らしく暮らし続けるためにリハビリを行います。



TOPICS 1

熊本地震にDMATが 出動しました



7月28日(火)に発生した熊本地震において、当院より災害派遣医療チームDMAT(医師1名、看護師2名、業務調整員1名)が出動しました。岡山県からは、7月29日から逐次チームが派遣され、落合チームは8月1日～5日にかけて現地で活動しました。済生会熊本病院内に設置された県央南DMAT活動拠点本部の活動指揮班に配属され、管下のDMATのチーム数や人数を適切に把握し、派遣調整や労務管理を行うのが主な任務でした。活動最終日には、宇城市の避難所や保健所の視察を行い、次チームに引き継ぎを終えて撤収となりました。救命や被災者の診療といった直接的な活動はありませんでしたが、被災された方々のために、少しでも力になれていればと思います。



TOPICS 2

リフレッシュ 研修を 行いました



新入職員を対象とする入職後4ヶ月のリフレッシュ研修を行いました。参加者は4月に井口会に入職した7名で、「木工房ものたね」にて木工体験を行い、スマホスタンドや鍋敷きなどの世界にひとつだけの作品を完成させました。指導を受けながら集中して作業に没頭しつつ、同期と近況を語らいながら楽しい時間を過ごせたようです。その後は4ヶ月間を振り返り、今後の目標を発表。これからも一緒にがんばっていこうと同期の絆を深めました。

TOPICS 3

看護就職フェアに 参加しました



8月26日(水)真庭高校で開催された就職説明会に参加しました。高校1年生から専攻科1年生の合計47名を対象に、市内の医療機関や市役所等の施設が、それぞれの特色や魅力を紹介し、地元での就職を呼びかけました。学生たちは熱心にプレゼンテーションを聞き、様々な質問をしてくださいました。

インフルエンザ ワクチン集団接種 のご案内

成人 ※高校生以上

〈集団接種〉

10/18(日)・11/8(日)

小児 ※6ヶ月以上中学生以下

毎週水曜日の午後

10月から11月まで

予約制となりますので、
ご予約をお願いいたします。

少子化の影響で年々学生は減少し、看護の道を目指す人も少なくなっています。一人でも多くの学生が「看護は素晴らしい」と感じ、看護の道に進んでもらえるように支援していきたいと思ひます。